

高知県の人権について(案)に対する意見等一覧

	頁	意見等
1	P9 女性	男女の経済格差『妻を養ってやっている』との思い』となっているが、県民意識調査などでは、家庭や職場の分野で、男性優位という傾向は改善しているのではないかと、例えば、正規非正規、あるいはひとり親といった傾向のデータがあれば、それらをもとにして変えた方がいいのかなと感じた。
2	P13 子ども	「子ども」ですが、現状に児童福祉法を挙げているが、書かれてある「子どもが権利の主体であること」というのは、児童の権利に関する条約であったり、こども基本法とした方がいいと思う。
3	P31 ハンセン病	現状のところ、「国の強制隔離政策など」とあるが、この「国の強制隔離政策」には、無らい県運動あるいは自治体も強制収容をしていたという、つながりがあるので、人権の問題として、しっかり解決していくうえで、そのような観点も入れていった方がいいと思う。 併せて課題のところ、もう回復者の方はどんどんお亡くなりになっていっている、感染症に関する差別ということであれば、「家族」というところに焦点を当てた課題というのものもあるかと思う。
4	P.42 インター ター	課題のところは旧態依然としている課題になっているので、現状に合わせた方がよい。
5	ネットによる人権侵害	ここにどういうデータを記載するか、どういう状況でこれを県民の皆さんに読んでいただくかというところは、もう少し検討した方がいいのではないか。
6	P44 インター ター ネットによる人権侵害 P47 災害と人権	ソーレの出前講座について、例えば、「SNS、メディアをテーマとした講座」5件と書いているが、この一つ一つのタイトルをいれるなど、もっと詳しく書いてはどうか、 ソーレは、「女性防災プロジェクト」に力を入れている。私も修了生だが、もう少し詳しく記載すれば、ソーレで勉強しようという方や男性の方も増えてくると思う。